

南アルプスユネスコエコパーク
管理運営計画（静岡市域版）

中期実行計画 年次報告書
（令和2年度）



令和3年12月

静岡市

《目 次》

1	はじめに	1
2	評価指標の状況	2
3	令和2年度の実施内容	3
	1 自然環境の保全（生物多様性の保全の機能）	3
	2 調査と教育（学術的研究支援の機能）	8
	3 地域の持続的な発展（経済と社会の発展の機能）	16
	4 理念の継承と管理運営体制の構築 （3つの機能を支える連携機能）	30
4	関連組織の活動状況	31
5	モニタリング実施状況	35
6	中期実行計画 総合分析	44

1 はじめに

この年次報告書は、「南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画（静岡市域版）中期実行計画」（以下、「中期実行計画」という。）に掲載した事業の進捗を把握し、適切な見直しを行うとともに、市民をはじめとした多くの方に、本市における南アルプスユネスコエコパークの取組をお知らせするために発行するものです。



令和2年7月10日より運航開始した新船「令和聖」



令和2年4月にリニューアルオープンした
南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家 新館特別室

2 評価指標の状況

本市では、南アルプスユネスコエコパークの取組を推進するにあたり、4つの基本方針の柱を掲げています。

実行計画では、この柱に基づき実施する事業の評価指標を掲げており、その進捗を次に示します。

【凡例】◎：達成(R4目標年度) ○：達成見込み △：要調整 ×：達成困難 -：中止

基本方針の柱	評価指標・令和4年度目標値	進捗状況			
		元年度	2年度	3年度	4年度
自然環境の保全	ライチョウが市内に生息している人の割合 (★) 37% (平成30年度) → 45%	54% ○	56% ○		
	南アルプス主要地域の高山植物種数 15種 (平成25年度) → 15種	13種(33種) ○	13種(33種) ○		
調査と教育	南アルプスモニタリング調査の実施と公表 (生活環境、自然環境、学術的調査・教育、社会状況) 毎年度実施と公表	実施 公表 ○	実施 公表 ○		
	南アルプスユネスコエコパーク出前授業受講児童(井川自然の家利用児童、その他児童)及び市政出前講座受講者の「南アルプスの自然を守っていききたい」と思う人の割合 毎年度95%以上	99% ○	99% ○		
地域の持続的な発展	市が地域住民・団体と協働実施した事業及び地域主催の地域振興事業 21事業 (平成30年度) → 23事業	21事業 ○	8事業 △		
	井川地域内施設入込客数 158.5千人 (平成29年度) → 170.0千人	155.4千人 △	82.6千人 △		
管理運営体制の構築	南アルプスユネスコエコパークの認知度 (★) 47% (平成30年度) → 54%	51% ○	60% ○		

※★印は令和4年度に市政アンケート調査により把握する指標。令和2年度については、各種イベント等でのアンケート結果を参考数値として記載。

※高山植物種数()内数は確認された全ての高山植物種数。基準年度に確認された15種から同調査区域において大幅に種数が増加していることを考慮し評価した。

3 令和2年度の取組内容

1 自然環境の保全（生物多様性の保全の機能）

（1）南アルプスの自然環境の保全

南アルプスの自然環境の保全を進めるうえでの考え方を示している項目であるため、個別事業は掲載していません。

（2）つながりを意識した一体的な保全

1）連携・協働体制の強化

組織No. 6	南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会	P 32
組織No. 7	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 32

2）来訪者のルール作りと啓発活動の推進

事業No.19	静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業	
組織No. 6	南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会	P 32
組織No. 7	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 32

【事業No.19】 静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業

① ホームページによる啓発

静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例に関する情報（条例制定の目的、適用を受ける林道、通行許可に関する情報、禁止行為、通行規制等）を静岡市ホームページに掲載し、条例の啓発を行った。

利用者の利便性を高めるため、ホームページに条文、林道地図、通行許可に係る審査基準、林道規制情報等のリンクを貼り、関連する情報に容易にアクセスすることができるようにした。

また、林道規制情報は、冬期閉鎖終了後速やかに情報を更新し、利用者に最新の通行情報を提供した。

URL : https://www.city.shizuoka.lg.jp/136_000008.html

② 現地への標識設置による啓発

南アルプスユネスコエコパーク登録地域内に18箇所設置している林道標識により通行にかかる注意事項や禁止事項、林道東俣線については通行許可が必要な旨を通行者に周知するとともに、南アルプスユネスコエコパークのロゴマークを表示し普及啓発を図った。

(3) 高山帯から山麓に広がる自然環境の保全

1) 高山植物の保護に向けた取組の推進

事業No.12	高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）
事業No.18	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

【事業No.12】高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

① 防鹿柵の設置・維持管理

ニホンジカの食害等から高山植物を保護するため、防鹿柵の立上、養生撤去、維持管理及び柵内の植生調査等を行った。

[令和2年度設置場所]

- ・中岳避難小屋周辺（クロユリ群生地）
約 189㎡（既存）
- ・千枚小屋周辺（オオサクラソウ生育地）
約6,667㎡（既存）
- ・熊の平小屋周辺 ※試験設置、常設
約 3.84㎡（既存）



クロユリ



オオサクラソウ



防鹿柵の設置状況

② 自動撮影カメラの設置

ニホンジカの生息状況を調査するため、千枚小屋周辺防鹿柵の周辺に自動撮影カメラを設置した。

③ 高山植物保護セミナーの開催

高山植物保護に取り組む人材の育成、環境保護意識の向上のため、市内高等学校の山岳部・登山部員を対象に、ニホンジカによる高山植物の食害の現状を学ぶとともに、高山植物保護活動を体験するセミナーを開催している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により現地体験学習は中止し、オンラインによる講座を開催した。



[セミナー概要]

開催日：令和3年1月19日（火）

参加者数：4校57人（静岡高校山岳部、静岡東高校登山部、
清水東高校山岳部、静岡聖光学院高校山岳部）

【事業No.18】中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

① 発生土置き場における植生回復方法の検討

ユネスコエコパークの理念に基づき、発生土置き場における植生回復の方法について専門家と検討を行った。

② 市民参画型環境保全事業（発生土置き場の緑化）の検討

中央新幹線建設事業の進捗状況に併せて、主要発生土置き場予定地の植生回復にかかる市民参画型の環境保全事業について検討を行った。

2) ライチョウの保護に向けた取組の推進

事業No.13	ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	
組織No.7	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P32

【事業No.13】ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

① ライチョウの生息状況把握調査

環境省が策定したライチョウ保護増殖事業計画（以下、「増殖計画」）では、最新のライチョウの生息状況の全体像が十分に把握されていないことが課題として挙げられており、各山岳地域のライチョウの生息状況について、最も基本的な情報として推定なわばり数を把握することとしている。そこで、本市域内のライチョウ生息地において、その世界生息地の南限である南アルプス南部上河内岳からイザルガ岳周辺のライチョウ生息状況調査を行った。

調査結果の概要については、P36「5（2）モニタリングの概要」を参照

② 普及啓発事業

ア) 南アルプスライチョウサポーター制度の運営

ライチョウサポーターから1件の発見情報が寄せられた。また、希望者へのメール配信を10回実施した。

イ) フォローアップ研修の実施

認定したライチョウサポーターを対象に、引き続き南アルプスやライチョウに関心を持ち続けてもらうため、長野県ライチョウサポーターズと合同でフォローアップ研修として「ライチョウ勉強会」を開催した。

[長野会場（県内在住者限定）]

開催日：令和3年2月27日（土）

会場：allla（アルラ）（長野県伊那市）

参加者数：12人 ※ほかオンラインでの参加50人

ウ) 南アルプス関連イベントでの情報発信

ライチョウの普及啓発を図るため、南アルプス関連イベントにてパネル展示等による情報発信を計10回実施した。

3) 自然環境の保全と生態系バランスを考慮した保全手法の検討・実施

事業No.9	南アルプス環境調査事業	
事業No.12	高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 4
事業No.13	ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 5
事業No.18	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 5
組織No.6	南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会	P 32

【事業No.9】南アルプス環境調査事業

① モニタリング調査（動植物環境調査）

南アルプス地域内における中央新幹線建設事業の実施に伴う環境変化を把握するため、南アルプスユネスコエコパーク登録地域及びその周辺地域において現在の自然環境の状況等を調査し、その結果を公表した。

調査結果の概要については、P36「5（2）モニタリングの概要」を参照

[調査項目]

動植物（植物、哺乳類、両生類、淡水魚類、底生動物）

[調査結果公表HP]

https://www.city.shizuoka.lg.jp/041_000081_00009.html

② 発生土置き場予定地植生調査

南アルプス地域内における中央新幹線建設事業の実施に伴い、南アルプスユネスコエコパーク登録地域内において事業者が示す発生土置き場予定地について、令和元年10月に発生した台風19号による影響について現状確認を行った。

4) 自然景観への配慮

事業No.9	南アルプス環境調査事業	P 6
事業No.12	高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 4
事業No.18	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 5
組織No.4	静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	P 31
組織No.5	静岡県中央新幹線環境保全連絡会議	P 31
組織No.7	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 32

5) 新たな開発等への対応

事業No.9	南アルプス環境調査事業	P 6
事業No.18	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 5
事業No.19	静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業	P 3
事業No.20	南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理事業	
組織No.2	静岡県中央新幹線工事調整連絡会	P 31
組織No.3	静岡市中央新幹線整備対策本部	P 31
組織No.4	静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	P 31
組織No.5	静岡県中央新幹線環境保全連絡会議	P 31

【事業No.20】 南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理事業

① 林道管理

静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例に基づき、南アルプスユネスコエコパーク登録地域内の林道18路線を適正に管理する目的で、林道の路面や法面の状況及びガードレール、カーブミラー、橋梁等の施設の状態を点検するためのパトロール業務を実施した。

② 林道の通行者管理

静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例に基づく通行許可が必要な林道東俣線の通行車両を適正に管理するため、全ての車両について、起点ゲートにおける通行車両の管理（許可の有無の確認、緊急車両の出入管理、夜間の施錠等）及び冬期閉鎖期間中のゲートの施錠点検等を実施した。

また、夜間や冬期閉鎖期間のゲート管理を徹底するため、林道起点ゲートに監視カメラを設置し、悪質車両の監視を行うとともに、ゲート入退場時にゲート管理棟に設置したポストに通行カードを投函するよう求めている。

2 調査と教育（学術的研究支援の機能）

（1）自然や文化を学び、心を育てる環境整備

1）南アルプス教育の推進

事業No.13	ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 5
事業No.16	南アルプス教育推進支援事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	
事業No.37	自然体験活動指導者育成講座事業	
事業No.38	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業	
事業No.39	学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供事業	
事業No.42	社会科副読本との連携事業	

【事業No.16】南アルプス教育推進支援事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

① 教育教材の活用

- ・市内全小学3年生を対象に、環境学習ハンドブック「しずおかの宝 南アルプスユネスコエコパーク」を配布した。
- ・小中学校において南アルプスユネスコエコパーク教育ビデオを活用した学習を取り入れてもらうため、「南アルプスユネスコエコパーク教育ビデオの手引書」を校長会にて紹介するとともに、市ホームページにて公開した。

② 南アルプスユネスコエコパーク出前授業の実施

- ・ライチョウ親子模型、ライチョウパネル及び南アルプス・井川地域ジオラマを活用した出前授業を実施した。

【静岡市立美和小学校（5年生8人、4年生17人）】

※井川自然の家と環境創造課の共同実施

開催日：令和2年7月9日（木）

【静岡市立清水中央小学校（3年生2人）】

開催日：令和2年9月23日（水）

【静岡産業大学冠講座（30人）】

開催日：令和2年11月17日（火）

【静岡市立新通小学校（5年生36人、3年生35人）】

開催日：令和3年2月1日（月）



出前授業

【事業No.37】自然体験活動指導者育成講座

例年、井川地域の自然、歴史、伝統文化等にふれる活動を通して、南アルプスユネスコエコパークの理念を理解し、その価値や素晴らしさを伝えられる指導者や、井川自然の家及び地域で自然体験活動を推進できる人材を育成するため、井川自然の家にて各種講座を開催し、受講者を自然体験活動指導者として認定している。

また、希望者は、静岡市環境学習指導員や静岡県初級青少年指導者の資格もあわせて取得できる。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため育成講座を中止とした。例年の実施内容は以下のとおりである。

① 必修講座（全2回）

[主な講座内容]

- ・南アルプスユネスコエコパーク学習会
- ・自然にやさしいエコクッキング（野外炊飯）
- ・大日古道ハイキング
- ・井川本村ガイドハイク研修
- ・井川神楽鑑賞
- ・井川湖渡船乗船体験

② 選択講座（井川自然の家の主催事業に1回参加）

[主な講座内容]

- ・井川在来作物での炊飯活動
- ・アマゴの串焼き体験
- ・所内ガイドハイク

【事業No.38】南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業

自然や文化の源である南アルプス・井川地域をより身近に感じ、素晴らしさを発見できるように、小中学生や家族を対象とした各種イベントや、送迎バス付利用促進事業を開催し、383名の参加があった。また、全ての事業において参加者の事後アンケートによる満足度が100%になった。

昨年度の課題を踏まえ、井川の地域資源の活用を目的に、井川森林組合との林業体験や、井川地域住民との農作物の収穫体験、井川の在来作物を材料に用いた餅つき体験を実施した。

① 小中学生対象

[トム・ソーヤ スプリングキャンプJr]（中止）

[トム・ソーヤ スプリングキャンプYg]（中止）

[トム・ソーヤ あきのにこにこキャンプ]

開催日：令和2年9月19日（土）～20日（日）

募集人数：32人 応募者数：93人（応募率：291%）

参加人数：32人

[トム・ソーヤ オータムキャンプ]

開催日：令和2年10月3日（土）～4日（日）

募集人数：102人 応募者数：153人（応募率：150%）

参加人数：31人



トム・ソーヤ 収穫体験

[トム・ソーヤ スキーキャンプ]

開催日：令和3年1月30日（土）～31日（日）
募集人数：30人 応募者数：55人（応募率：183%）
参加人数：28人

[トム・ソーヤ ウィンターキャンプ]

開催日：令和3年2月27日（土）～28日（日）
募集人数：24人 応募者数：87人（応募率：363%）
参加人数：24人



トム・ソーヤ 渡船体験

② 家族・グループ対象

[井川de山菜グルメ]（中止）

開催日：令和2年4月25日（土）～26日（日）
募集組数：18組 応募組数：37組（応募率：206%）

[自然の家体験デー（春）]（中止）

[井川deアウトドアクッキング入門]

開催日：令和2年6月20日（木）～21日（金）
募集組数：8組 応募組数：13組（応募率：163%）
参加組数：8組 参加人数：31人

[井川deキャンプ入門]（中止）

開催日：令和2年7月4日（土）～5日（日）
募集組数：8組 応募組数：16組（応募率：200%）

[自然の家体験デー（夏）]（中止）

開催日：令和2年7月18日（土）～19日（日）
募集組数：8組 応募組数：3組（応募率：38%）

[井川deファミリーサマーキャンプ]

開催日：令和2年8月9日（日）～10日（月・祝）
募集組数：8組 応募組数：26組（応募率：325%）
参加組数：7組 参加人数：26人

[井川de秋祭り]

開催日：令和2年9月5日（土）～6日（日）
募集組数：8組 応募組数：13組（応募率：163%）
参加組数：8組 参加人数：29人

[自然の家de体験デー（秋）]（中止）

開催日：令和2年10月10日（土）～11日（日）
募集組数：8組 応募組数：11組（応募率：138%）

[井川de秋の山遊び]

開催日：令和2年10月31日（土）～11月1日（日）
募集組数：8組 応募組数：15組（応募率：188%）
参加組数：8組 参加人数：28人

[井川deクリスマスリース作り]

開催日：令和2年11月28日（土）～29日（日）
募集組数：8組 応募組数：30組（応募率：375%）
参加組数：7組 参加人数：23人

[自然の家体験デー（冬）]

開催日：令和3年2月13日（土）～14日（日）
募集組数：8組 応募組数：6組（応募率：75%）
参加組数：4組 参加人数：15人

③ 送迎バス付利用促進事業

[標高1000mでヨガ]

開催日：令和2年11月5日（木）
募集組数：8組 応募組数：13組（応募率：163%）
参加組数：9組 参加人数：15人

[DEEP IKAWA 井川を深掘りする旅]

開催日：令和2年11月21日（土）～22日（日）
募集組数：8組 応募組数：10組（応募率：125%）
参加組数：8組 参加人数：15人



DEEP IKAWA 井川を深掘りする旅

[井川deスキー&雪遊びⅠ]

開催日：令和3年1月23日（土）～24日（日）
募集組数：8組 応募組数：8組（応募率：100%）
参加組数：4組 参加人数：11人

[井川deスキー&雪遊びⅡ]

開催日：令和3年2月6日（土）～7日（日）
募集組数：8組 応募組数：14組（応募率：175%）
参加組数：4組 参加人数：14人



トレイルランニング

[井川deスキー&雪遊びⅢ]

開催日：令和3年2月20日（土）～21日（日）
募集組数：8組 応募組数：8組（応募率：100%）
参加組数：8組 参加人数：22人

④ 新館リニューアル及びトレイルランニングコース完成記念事業

開催日：令和2年11月14日（土）～15日（日）
募集組数：10組 応募組数：8組（応募率：80%）
参加組数：8組 参加人数：21人

【事業No.39】 学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供事業

市内小中学校の児童生徒に、南アルプスの素晴らしさを理解しその恵みに感謝する豊かな心が育つよう、学校教育と連携した体験プログラム等を実施した。市内小学校のうち計8校の利用があり、その全ての利用学校において、引率責任者の利用目的の達成度が100%になった。

昨年度の改善策を踏まえ、活動プログラムの見直しを行い、所内の自然についてより親しめるワークシートを作成した。

① 南アルプスユネスコエコパークの理念の普及

全利用学校に対し、職員が利用学校の受け入れ時に南アルプスや井川地域の自然について紹介した。

井川自然の家と環境創造課が連携して、事前学習の要望のあった1校に対し、南アルプスユネスコエコパークの理念や井川自然の家周辺の自然環境に関する内容の出前授業を行った。

② 自然にやさしいエコクッキング（野外炊飯）

木（薪）・水・食材の節約を観点に、環境保護の大切さを伝えた。（3校実施）

③ 大日古道ハイキング・井川湖渡船乗船体験

古来、井川地域の交通路として機能した大日古道と、現在、井川の地域資源として来訪者から需要のある井川湖渡船を利用した。（3校実施）

④ アマゴの串焼き体験

井川で育ったアマゴをさばき、食べることを通して、命をいただくことの大切さを伝えた。（3校実施）

⑤ 勘行峰ハイキング

リバウエル井川スキー場から井川自然の家を結ぶ勘行峰ハイキングコースを利用し、南アルプスの眺望を楽しむとともに、コース沿いの自然にふれ合った。（2校実施）

【事業No.42】 社会科副読本との連携事業

社会科副読本改訂委員会を開催（年4回）し、内容検討、執筆を行い、年度末に改訂版社会科副読本を各学校に配布した。また、平成28年度版より掲載したオクシズ及び南アルプスユネスコパークに関する内容について、使用する写真やイラスト等の見直しを行った。

2) 体験教育（修学旅行等）や合宿、企業研修の誘致、受入体制の確立

事業No.5	静岡型体験観光推進事業	
事業No.39	学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供事業	P12
事業No.40	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家PR活動事業	

【事業No.5】静岡型体験観光推進事業

① 教育旅行誘致活動

山梨県や長野県などの各市町教育委員会や旅行会社を訪問し、新型コロナウイルスの影響による教育旅行の実施状況（実施時期や行先等）やニーズの聞き取り等の誘致活動を実施した。また、誘致活動での情報を参考に、山梨県の教職員および旅行会社を招いてのモニターツアー（各1回）を官民連携のもと実施した。

② 体験プログラムの開発

静岡市街地から井川地域までを含めた新しい静岡型体験旅行プログラムの情報収集及び開発を実施し、体験プログラムの冊子を作成した。

【事業No.40】南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家PR活動事業

① チラシ、ポスター等の配布・掲示

各庁舎、各生涯学習施設等に、主要事業及びトレイルランニングに関するチラシやポスターを配布した。

② リピーター層に向けたメール配信

主催事業の参加者に対し、メール配信システムへの登録を促すとともに、登録者に向けてほかの主催事業の開催案内を配信した。

システム登録件数：1,565件（R1：1,456件）

③ ホームページによる情報発信

主催事業の募集案内や予約状況、井川自然の家の広報紙「からまつ」の紹介を中心に、毎月5回以上の更新・情報の発信を行った。

④ フェイスブックページによる情報発信

主催事業の案内、井川自然の家広報紙「からまつ」の紹介のほか、特に、井川自然の家周辺で見られる動植物の様子など、即時性のある内容について、毎月10回以上の更新・情報の発信を行った。

フォロワー：748人（R1：570人）

⑤ 校務支援システムの活用

学校教育で活用可能な井川地域の自然物の写真リスト等を掲載し、閲覧できるようにした。

3) 教育拠点の整備・充実と効果的な活用

事業No.11	静岡市次世代エネルギーパーク推進事業	
事業No.21	南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター活用事業	
事業No.41	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家整備事業	事業完了

【事業No.11】 静岡市次世代エネルギーパーク推進事業

① 普及啓発

静岡市地球温暖化対策情報サイト『つなごうしずおか』をはじめ、各種広報媒体を活用して静岡市次世代エネルギーパークを広報し、次世代エネルギーに関する普及啓発を行った。また、次世代エネルギーパークを紹介する動画を作成し、市公式YouTubeで公開した。

[動画内容]

南アルプスユネスコエコパーク周遊ゾーンの紹介

- ・南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家
- ・井川ダム
- ・中部電力井川展示館
- ・静岡市南アルプス赤石温泉「白樺荘」



赤石温泉「白樺荘」

② 活用推進

各種イベントでパンフレットを配布し、活用促進を図った。

[南アルプスユネスコエコパークの次世代エネルギーパーク関連施設]

- ・静岡市南アルプス赤石温泉「白樺荘」(バイオマス熱利用)
- ・中部電力井川展示館(水力発電)
- ・井川発電所/井川ダム(水力発電)
- ・畑薙第一発電所/畑薙第一ダム(水力発電)

【事業No.21】 南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター活用事業

南アルプスや井川地域の観光・登山情報を発信するとともに、自然・歴史・文化等の学習の場として活用した。



南アルプスユネスコエコパーク
井川ビジターセンター

(2) モニタリングの実施と情報の集約

1) モニタリングの実施

事業No.9	南アルプス環境調査事業	P 6
事業No.12	高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 4
事業No.13	ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 5
事業No.18	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 5
組織No.7	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 32

2) 産官学民の連携によるモニタリング体制の構築

組織No.7	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 32
組織No.8	オクシズ在来作物連絡協議会	P 33

3) 自然や文化に関わる情報の集約と活用

事業No.18	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 5
組織No.7	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 32

3 地域の持続的な発展（経済と社会の発展の機能）

（1）地域の魅力の磨き上げと地域振興

1）地域資源のブランド化と販路開拓の支援

事業No.4	葵区魅力づくり事業
事業No.25	地域おこし協力隊配置事業
事業No.26	オクシズ元気ビジネス支援事業

【事業No.4】 葵区魅力づくり事業

① 地域活動参加促進事業「葵トラベラー」の実施

自治会連合会が主体的に実施する地域の取組に、一般参加者を公募・参加させることで、地域住民による地域プロモーションを実施し、更なる住民参画とその定着化を目指した。

〔葵トラベラー井川編「親子で釣り体験&温泉入浴」〕

開催日：令和2年8月5日（水）

参加者数：23人 地域参画団体：3団体

〔葵トラベラー井川編「夏の井川を親子で楽しむ」〕

開催日：令和2年8月19日（水）

参加者数：13人 地域参画団体：3団体

〔葵トラベラー井川編

「冬の井川を楽しむ～温泉とジビエ料理編～」〕

開催日：令和2年12月16日（水）、令和3年2月24日（水）

※上記日程で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止



葵トラベラー井川編
「親子で釣り体験&温泉入浴」

【事業No.25】 地域おこし協力隊配置事業

① 地域おこし協力隊の新規隊員の募集及び配置

井川地区において、地域おこし協力隊1名を配置した。

② 補助金の交付

ア) 地域おこし協力隊員用住宅改修事業補助金

地域おこし協力隊が居住するための住宅を改修する者に補助金を交付した。

イ) 地域おこし協力隊活動支援事業補助金

地域おこし協力隊の活動を支援する団体に補助金を交付した。

【事業No.26】 オクシズ元気ビジネス支援事業

中山間地域の活性化及び集落の維持を図るため、地域住民等が地域の産業・自然・文化などの資源を活用して実施する、新たなビジネスを「オクシズ元気ビジネス支援事業」として支援した。

2) 地域資源を活かした新たなプログラム・コースの開発

事業No.5	静岡型体験観光推進事業	P13
事業No.15	南アルプス情報発信事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	
事業No.22	南アルプス周辺登山道整備事業	
事業No.38	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業	P9
事業No.40	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家PR活動事業	P13

【事業No.15】南アルプス情報発信事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

南アルプス・井川地域の自然、歴史、伝統文化など、当該地域に潜在している魅力を掘り起こし、ターゲットとしている若い世代（20代から30代）に向け、ホームページのアクセスログの分析結果に基づくニーズに対応した情報を発信した。

① ホームページによる情報発信（SNSの活用）

平成27年度に開設したホームページ“南アルプスde深呼吸「南プス」”や市Facebookにて、南アルプスの自然環境や井川地域の施設情報などを発信した。

U R L : <https://nanpusu.jp/index.html>

閲覧数：214,002PV（ページビュー）

② 井川地域の魅力発見

初めてでも気軽に参加できるよう各種イベントについて取材を行い、「イベントレポート」としてホームページに掲載した。

取材回数：5回（イベントレポート5件公開）

U R L : <https://nanpusu.jp/event/index.html>



イベントレポート

③ 南アルプス南部登山関係情報の発信

熊の平小屋、赤石岳避難小屋、千枚小屋の管理人へ取材を行い、こだわりの食事やおすすめの景色を「山小屋レポート」としてホームページに掲載した。

U R L : <https://nanpusu.jp/yamagoza/index.html>

④ 南アルプスのパノラマ・VRコンテンツの制作

南アルプスの三伏山、塩見岳、農鳥岳からのパノラマ写真と、360度カメラで撮影した画像を使用したVRコンテンツを制作しホームページに掲載した。

U R L : <https://nanpusu.jp/gallery/vtour.html>



農鳥岳からの風景（VR）

⑤ 南アルプス情報発信パネルの作成

山小屋管理人への取材の際に収集した写真等を活用し、風景写真等を掲載したパネルを作成した。

⑥ 南アルプスユネスコエコパークのイメージソングによる普及啓発

静岡県内出身の歌手「yosu」作詞・作曲のイメージソングをホームページにて配信した。

U R L : <https://nanpusu.jp/yosu/index.html>

【事業No.22】 南アルプス周辺登山道整備事業

① 大雨と沢の増水による茶臼岳登山道の吊橋流失における災害復旧

- ・流失した吊橋1橋梁の修繕を完了した。
- ・流失した吊橋2橋梁の復旧工事の発注及び契約を実施した。

② 既存登山道の整備

- ・茶臼岳登山道崩落箇所等の登山道の危険箇所の修繕を実施した。

3) 積極的な情報発信

事業No. 1	移住希望者向け情報発信事業	
事業No.14	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	
事業No.15	南アルプス情報発信事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 17
事業No.17	南アルプスユネスコエコパーク登録周年記念事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	
事業No.25	地域おこし協力隊配置事業	P 16
組織No. 6	南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会	P 32
組織No.10	南アルプスあふとライン周辺地域誘客協議会	P 34

【事業No. 1】 移住希望者向け情報発信事業

① 移住支援センターを中心とした移住・定住相談事業

市が東京に設置した移住支援センターに常駐する相談員による移住相談業務のほか、毎回異なるテーマで移住セミナーや相談会等を開催し、移住希望者へ希望に沿った情報を提供した。

相談件数：954件（R1：808件）

相談人数：991人（R1：934人）



移住支援センター

② ホームページ等による情報発信

静岡市の移住・定住情報サイト「いいねえ。静岡生活」やSNSのほか、移住関連雑誌やテレビ・新聞等により移住情報や本市の魅力を発信した。

URL : <https://shizuoka-seikatsu.jp/>



移住・定住情報サイト「いいねえ。静岡生活」

【事業No.14】普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

① 南アルプスユネスコエコパーク構成市町村との連携による情報発信

ア) 寸又峡（川根本町）での普及啓発活動

実施日：令和2年8月12日（水）

会場：寸又峡（川根本町）

② 市内・県内における情報発信

ア) 「島田発 南アルプス山頂への道—南アルプスと大井川—」（資料提供）

実施期間：令和2年7月4日（土）～9月6日（日）

会場：島田市博物館

イ) 広報しずおか「静岡気分」への情報掲載

掲載号：8月号

内容：南アルプスの不思議等

ウ) 市内公共施設と連携した南アルプスユネスコエコパークの魅力発信展示

実施期間：令和2年6月30日（火）～7月21日（火）

会場：JR静岡駅北口地下「しずチカ」

実施期間：令和2年9月30日（水）～10月13日（火）

会場：駿河生涯学習センター（来・て・こ）

実施期間：令和2年10月1日（木）～30日（金）

会場：静岡市女性会館

実施期間：令和2年10月21日（水）～30日（金）

会場：西部生涯学習センター

実施期間：令和3年2月8日（月）～19日（金）

会場：駿河区役所

実施期間：令和3年3月22日（月）～4月2日（金）

会場：清水中央図書館

エ) 民間施設と連携した南アルプスユネスコエコパークの魅力発信展示

実施期間：令和2年9月11日（金）～14日（月）（展示）、

12日（土）（缶バッジ作り）

会場：イオン清水店



イオン清水店での展示

オ) 市民団体との協働による写真等展示

催事名：静岡アート&ネイチャーフェスティバル

実施期間：令和2年11月3日（火）～8日（日）

会場：静岡市民ギャラリー

カ) 南アルプスユネスコエコパークロゴマークの活用

- ・職員名刺への活用
- ・PRポロシャツの作成及び着用

キ) 南アルプス衛星ライブカメラホームページの運用

- ・牛首峠から見える赤石岳等の静止画をホームページに掲載した。
- 閲覧数：27,340PV（ページビュー）

【事業No.17】 南アルプスユネスコエコパーク登録周年記念事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

① 登録6周年記念事業の実施

ア) 南アルプスユネスコエコパーク啓発活動

市民をはじめ静岡市に來訪する方に向けて、南アルプスユネスコエコパークに登録された南アルプスや葵区井川地域の魅力を情報発信するとともに、南アルプスユネスコエコパーク登録6周年啓発とエコパークの理念を啓発するために、啓発品やパンフレット等の配付や説明等、PR活動を川根本町職員と協働で実施した。



しずチカでのPR活動

日時：令和2年7月14日（火）11:00～14:00

場所：JR静岡駅北口地下広場イベントスペース内

4) 地域資源の持続可能な利用

事業No.8	中山間地域への再生可能エネルギー導入促進事業
事業No.10	静岡市森林環境アドプト事業
事業No.24	野生鳥獣被害対策事業
事業No.27	林業担い手育成対策事業

【事業No.8】 中山間地域への再生可能エネルギー導入促進事業

再生可能エネルギーの導入に向け、よりポテンシャルが有望な箇所を検討するとともに、採算性等の課題から事業スキームの再構築の検討を行った。

【事業No.10】 静岡市森林環境アドプト事業

① 森林整備計画の検討・整備実施

森林地域の恩恵を受ける都市地域の企業・団体等の寄附により、二酸化炭素の吸収に必要な森林の整備を行った。

[実績]

平成30年度	葵区井川地区	13.14ha
令和元年度	葵区井川地区	11.73ha
令和2年度	葵区井川地区	9.24ha

② 間伐材の活用

ア) 積み木の作成・寄贈

間伐材を活用した積み木を35セット作成し、市内こども園に寄贈した。

イ) 積み木贈呈式（オンライン）の開催

市内こども園と会場を中継で繋ぎ、静岡市森林環境アドプト実行委員会から積み木を贈呈した。

開催日：令和2年12月11日（金）

会場：静岡市役所 新館17階171・172会議室

③ 森林環境アドプト企業認定証授与式の開催

寄附企業33社中21社が出席し、静岡市森林環境アドプト実行委員会から「静岡市森林環境アドプト企業認定書」を授与、静岡市長から感謝状を贈呈した。

開催日：令和2年12月11日（金）

会場：静岡市役所 新館17階171・172会議室



認定証授与式

④ 新規寄付企業の開拓

令和2年度より、新たに2社が森林環境アドプト企業へ加入した。

⑤ 普及啓発

整備地区の道路脇に、静岡市森林環境アドプト事業及び寄附企業を紹介する看板を設置した。



寄附企業紹介看板

【事業No.24】 野生鳥獣被害対策事業

野生鳥獣による農作物等の被害を防除するため、農林業者等への助成、有害鳥獣の捕獲事業等を行った。

① 農林業者等への助成（防除事業）

個別型	102件	6,885千円	24.7ha	
団体型	52件	8,064千円	29.4ha	
地域一体型	7件	33,176千円	22.3ha	
合計	161件	48,125千円	76.4ha	※全市実績

② 有害鳥獣捕獲事業

	捕獲実績数	報償金額	
ニホンザル	303頭	9,090千円	
ニホンジカ	669頭	13,380千円	
イノシシ	615頭	9,225千円	
カラス	136羽	68千円	
アライグマ	129頭	645千円	
ハクビシン	321頭	1,605千円	
合 計	2,173頭	34,013千円	※全市実績

【事業No.27】 林業担い手育成対策事業

林業労働災害の発生防止等を支援するため、各種補助金を交付した。

① 林業労働安全衛生対策事業補助金

労働災害防止等の就労環境改善に必要な経費を助成した。

② 林業労務者振動病対策事業補助金

振動機械の使用による障害の予防対策の一環として、林業、製材業関係者が実施する特殊健康診断に対する経費を助成した。

(2) 将来を担う人材育成と受入体制・環境づくり

1) 地域資源をつなげる人材の育成

事業No.14	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 19
---------	----------------------------------	------

2) 地域の担い手育成

事業No. 1	移住希望者向け情報発信事業	P 18
事業No. 7	無形民俗文化財の公開事業	
事業No.14	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 19
事業No.23	中山間地移住促進事業	
事業No.25	地域おこし協力隊配置事業	P 16
組織No. 8	オクシズ在来作物連絡協議会	P 33

【事業No. 7】 無形民俗文化財の公開事業

後継者不足に悩む伝統芸能の保存団体に対する伝承活動の支援や、その伝統文化に市民が身近に触れることができる場を設けることで、認知度や魅力度の向上を図る。

令和2年度においては、新型コロナウイルスの影響により未実施である。

【事業No.23】 中山間地移住促進事業

① 空き家情報の発信

ホームページ「中山間地域空き家情報バンク」により情報を発信した。

URL : <https://www.okushizuoka.jp/live/article/post.html>

[利用実績] 10件

井川地区	1件
梅ヶ島地区	3件
玉川地区	2件
大川地区	1件
清沢地区	1件
中藁科地区	1件
服織西地区	1件



② 移住者支援

ア) 中山間地域移住者用住宅改修事業補助金

空き家情報バンクに掲載されている賃貸・売買住宅の改修にかかる経費に対し、補助金を交付した。

[交付実績] 6件

梅ヶ島地区	3件	1,000千円、1,000千円、889千円
大河内地区	2件	1,000千円、1,000千円
服織西地区	1件	1,000千円

イ) 中山間地域移住報奨金

移住後6月以上の居住実績があり、交付後5年間の生活の様子を情報発信し、市の実施する移住促進事業に協力する者に対し、報奨金を交付した。

[交付実績] 6件

大河内地区	1件	600千円
大川地区	1件	600千円
清沢地区	3件	400千円、400千円、600千円
(清水区) 両河内地区	1件	400千円

③ 受入地域支援

ア) 移住促進事業補助金

地域が実施する移住促進活動にかかる経費に対し、補助金を交付した。

[交付実績] 1件

大川地区	1件	500千円
------	----	-------

3) 交流人口の増加

事業No.2	井川湖渡船運航事業	
事業No.5	静岡型体験観光推進事業	P13
事業No.14	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P19
事業No.17	南アルプスユネスコエコパーク登録周年記念事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P20
事業No.21	南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター活用事業	P14
事業No.29	静岡市道路休憩施設利用促進事業	
事業No.40	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家PR活動事業	P13
事業No.41	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家整備事業	事業完了
組織No.1	大井川流域振興連絡会	P31
組織No.6	南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会	P32
組織No.7	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P32
組織No.10	南アルプスあふとライン周辺地域誘客協議会	P34

【事業No.2】井川湖渡船運航事業

① 渡船運航

[実績]

年間運航回数：910回

年間乗客数：6,089人

② 渡船関係施設の更新・維持管理

ア) 船舶の更新

新船「令和聖」を令和2年6月27日に更新、7月10日より運航開始した。

イ) 渡船乗場の安全確保

湖水面の上昇、下降に伴う栈橋の移設及び宮向乗場の整備、乗場通路上の土砂、流木等の撤去を実施した。



井川湖渡船（左：赤石丸、右：令和聖）

③ イベントの開催

ア) 井川湖渡船音楽まつりの開催

開催日：令和2年8月1日（土）～2日（日）

乗船数：160人



夏の音楽祭り

イ) 船上茶会の開催

井川の雑穀を使用した雑穀クッキーと井川茶を無料で提供し、令和聖船内で風景とともに楽しむ「船上茶会」船を運航した。

開催日：令和2年11月15日（日）

乗船者数：315人

上記両イベントでは、参加型イベント（井川フォトラリー）を同日開催し、井川の暮らしや文化等の見どころを紹介したほか、てしゃまんく最中等、井川の特産品を景品としてPRした。

⑤ 缶バッジ配布

乗船者に、乗船記念の缶バッジを配布した。

また、イベントでは特製の「さくらももこ」イラストの「令和聖」就航記念缶バッジを配布した。

【事業No.29】 静岡市道路休憩施設利用促進事業

既存の観光・地域振興施設と連携を図り、道路利用者へ駐車場とトイレを提供することで、道路利用者の安全性及び利便性を向上させることを目的に道路休憩施設を設置している。令和2年度は、オクシズドライブマップを道路計画課、中山間地振興課、各静岡市道路休憩施設（有人）、各区役所1階総合案内等に配架し、広報活動を行った。また、中山間地振興課と連携し、24時間トイレを利用できるよう施設を改築した。

4) 観光地としてのレベルアップ

事業No.29	静岡市道路休憩施設利用促進事業	P 25
組織No.10	南アルプスあふとライン周辺地域誘客協議会	P 34

5) 交通アクセスの向上

事業No. 2	井川湖渡船運航事業	P 24
事業No. 3	井川湖畔遊歩道管理事業	
事業No.20	南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理事業	P 7
事業No.22	南アルプス周辺登山道整備事業	P 18
事業No.28	井川地区自主運行バス運行事業	
事業No.29	静岡市道路休憩施設利用促進事業	P 25
事業No.30	道路改良事業	
事業No.31	道路トンネル補修事業	
事業No.32	道路自然災害防除事業（法面）	
事業No.33	橋りょうの耐震化及び健全化事業	
組織No.10	南アルプスあふとライン周辺地域誘客協議会	P 34

【事業No.3】井川湖畔遊歩道管理事業

① 広報・PR活動

ア) 井川地区パンフレットの配布

渡船乗場の位置や出航時刻のほか散策に便利な情報を1枚にまとめたパンフレットを、地域の宿泊施設及び大井川鐵道等に配付した。

イ) 旅行雑誌での紹介

「WOMO」「まっふる静岡」「ウォーカープラス」「すろーかる」「プラール」「ドライブぴあ」の計6誌に紹介記事を掲載し、市内外に情報発信した。

② まち歩きガイドの活動

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、まち歩きガイドの活動を制限し、代替事業としてまち歩きガイドによる井川地内の接客業向けにボランティアガイド養成講座を実施した。

③ 遊歩道の安全確保

井川湖畔遊歩道の快適な利用と景観の美化を維持するため、遊歩道の除草作業等の維持管理を行った。

- ・除草作業 作業面積 3,520m²
7月15日～21日、8月18日～27日、
10月21日（計3回実施）
- ・遊歩道巡回 ゴミ拾い、折れ枝等撤去、遊歩道
パンフレットの補充、看板等の補修
(計21回実施)



井川湖畔遊歩道

【事業No.28】井川地区自主運行バス運行事業

住民の生活交通の確保及び観光客にも対応した自主運行バスを運行した。

[観光客対応]

7、8、10、11月の土曜、日曜、祝日の運行ダイヤを増便した。

運行ルート：静岡市葵区横沢～南アルプス赤石温泉白樺荘

利用者数：3,637人／年



井川地区自主運行バス

【事業No.30】道路改良事業

① 県道三ツ峰落合線及び主要地方道南アルプス公園線の道路改良

県道三ツ峰落合線及び主要地方道南アルプス公園線のトンネル新設について、測量、設計を実施した。また、トンネル前後区間の道路拡幅及び災害防除等については、7箇所で行った。

② その他路線の道路改良

幅員が狭い区間や見通しが悪い区間を抽出し、道路改良事業を実施した。

【事業No.31】 道路トンネル補修事業

地域住民、来訪者の安心・安全な通行を確保し、交通アクセスの向上を図るために実施したトンネル点検（H26～H30）により補修が必要とされたトンネルは、過年度に補修対応を実施済みである。令和2年度は大網トンネルの点検を実施した。

【事業No.32】 道路自然災害防除事業（法面）

道路防災点検によって緊急・早期に法面对策が必要と評価された箇所や斜面に変状が生じた箇所について、対策を実施した。

対象工事：4件（口坂本カシジロ、井川ナギヤマ）

対象道路：（主）南アルプス公園線

【事業No.33】 橋りょうの耐震化及び健全化事業

地域住民や来訪者の安心・安全な道路通行を可能とするための、橋りょうの耐震化及び健全化の実施はなかった。

6) 地域住民や来訪者の安全性・利便性・快適性の確保

事業No.22	南アルプス周辺登山道整備事業	P18
事業No.34	千代田消防署井川出張所維持管理事業	
事業No.35	山岳救助体制整備事業	
事業No.36	ヘリコプター南アルプス活動拠点指定事業	
組織No.9	静岡県山岳遭難防止対策協議会静岡市支部	P34

【事業No.34】 千代田消防署井川出張所維持管理事業

井川地域住民等の安全を確保し、非常事態に備えた体制を整備するため、井川地域の消防、救急を担う拠点施設となる千代田消防署井川出張所庁舎の維持管理を行った。

【事業No.35】 山岳救助体制整備事業

地域住民や来訪者の安全を確保するため、千代田消防署しずはた出張所に山岳救助隊を設置し、山間地域において事故が発生した際には、消防航空隊と連携して捜索、救出、救護を実施した。

① 山岳救助体制の充実

年間を通して山岳救助事案発生の可能性を踏まえ年間計画を策定し、シーズンごとの訓練を実施した。また、消防航空隊との連携訓練も実施し、山岳救助事案に素早く対応が可能な体制を整えた。

- ・春山訓練 実施なし
- ・夏山訓練 2回
- ・冬山訓練 4回
- ・消防ヘリコプターとの連携訓練 17回
- ・消防ヘリコプターとの連携事案 3回

② 山岳救助支援員の指名

山岳救助事案の多種多様化に伴い、山岳救助体制の強化を図ることを目的とし、山岳救助隊員経験者を対象とした「山岳救助支援員」を昨年度から引き続き6名指名し、災害事案が重なった際等に出動させる制度を構築した。



山岳救助訓練の様子

【事業No.36】ヘリコプター南アルプス活動拠点※指定事業

登山者等の非常事態へ迅速に救助・救急対応をするため、登山道にヘリコプターのレスキューポイント及び着陸場を指定するための調査等を実施した。

① 登山調査・上空調査

- ・平成27年度から引き続き、南アルプスの森林限界以下（樹林帯）登山道に、ヘリコプターから救助隊員をホイスト等で投入できる場所を指定するため、ヘリコプターによる上空からの調査・写真撮影を実施した。
- ・平成30年度に樹木を伐採し造った、レスキューポイント（赤石岳登山道 大倉尾根2/5）と、令和2年度に樹木を伐採し作った、レスキューポイント（赤石岳登山道 大倉尾根3/5）の2箇所を、令和2年10月に地上（登山調査）から確認し、正式に指定した。

② 資料作成・配布

レスキューポイント指定後、南アルプス活動拠点資料を更新し、関係機関に配布した。

※活動拠点：ヘリコプターがホバリングし、救助隊員を投入、又は要救助者を揚収可能な場所。（樹林帯の隙間は直径約10m程度が必要。）

4 理念の継承と管理運営体制の構築（3つの機能を支える連携機能）

（1）国内外への積極的な情報発信とオール静岡による意識醸成

1）国内外への積極的な情報発信

事業No.6	海外プロモーション事業	
事業No.14	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 19
事業No.17	南アルプスユネスコエコパーク登録周年記念事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 20
組織No.7	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 32

【事業No.6】海外プロモーション事業

① 現地メディアを活用した情報発信

韓国の事業者に委託し、在日の韓国人に市内のコンテンツを取材してもらいブログ記事を作成し、情報発信を行った。

全133記事 訪問回数：40,665回 訪問人数：29,990人

2）国際対応

事業No.5	静岡型体験観光推進事業	P 13
事業No.14	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 19

3）オール静岡による意識醸成

事業No.14	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 19
事業No.15	南アルプス情報発信事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 17
事業No.16	南アルプス教育推進支援事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 8
事業No.17	南アルプスユネスコエコパーク登録周年記念事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 20
事業No.37	自然体験活動指導者育成講座事業	P 8
事業No.38	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業	P 9
事業No.39	学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供事業	P 12
事業No.42	社会科副読本との連携事業	P 12
組織No.8	オクシズ在来作物連絡協議会	P 33

（2）産官学民協働による管理運営体制の構築

1）南アルプスユネスコエコパーク全体の管理運営体制の構築

組織No.7	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 32
--------	--------------------	------

2）静岡県、川根本町等との連携体制の構築

組織No.6	南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会	P 32
--------	-------------------------	------

4 関連組織の活動状況

実行計画に掲載されている関連組織の活動状況は次のとおりとなります。

【組織No.1】大井川流域振興連絡会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
総会	令和2年6月9日（火）（議決日） 書面開催	令和元年度事業報告・決算報告、 令和2年度事業計画案・予算案 ほか
総会	令和3年2月3日（水） ウェブ開催	令和2年度事業報告・決算報告、 連絡会の解散 ほか
エコツーリズム 推進活動支援事業	通年	地域の活性化に寄与する活動を行 っている地域団体の支援

【組織No.2】静岡県中央新幹線工事調整連絡会

令和2年度の開催実績なし

【組織No.3】静岡市中央新幹線整備対策本部

令和2年度の開催実績なし

【組織No.4】静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会

令和2年度の開催実績なし

【組織No.5】静岡県中央新幹線環境保全連絡会議

行事・会議名	開催日時・場所	内容
第9回静岡県中央新幹 線環境保全連絡会議	令和2年11月27日（金） 静岡県庁別館8階 第一会議室	静岡県中央新幹線環境保全連絡会 議専門部会における対話の経緯と 現状、国の有識者会議における議 論の経緯と現状
静岡県中央新幹線環境 保全連絡会議 「地質構造・水資源専 門部会」「生物多様性 専門部会」合同会議	令和2年7月31日（金） 静岡県庁本館4階 特別会議室	国土交通省による有識者会議の状 況等
静岡県中央新幹線環境 保全連絡会議 生物多様性専門部会	第5回：令和2年12月25日（金） 静岡県庁別館2階 第一会議室 第6回：令和3年2月8日（月） 静岡県庁本館4階	「中央新幹線建設工事における大 井川水系の水資源の確保及び自然 環境の保全等に関する引き続き対 話を要する事項（生物多様性専門

	議会特別会議室 第7回：令和3年3月29日（月） 静岡県庁本館4階 議会特別会議室	部会編）」に対するJR東海との対話
--	--	-------------------

【組織No.6】南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
総会	書面開催 (令和2年6月12日(金)付 通知)	・令和元年度事業報告、収支決算について ・新規会員の加入に伴う会則の改正について ・令和2年度事業計画(案)、収支予算(案)について
井川と川根をつなぐ 「いかわね新聞」編集 部会	第1回：令和2年4月13日(月) 静岡市役所井川支所 第2回：令和2年6月11日(木) 川根本町総合支所 第3回：令和2年10月15日(木) 静岡市役所井川支所 第4回：令和2年11月10日(火) 川根本町総合支所	地域の資源や魅力、ユネスコエコパークの理念、最新情報等を共有・発信することを目的として、昨年度に引き続き、「いかわね新聞」第14号及び第15号の発行とそれに係る編集部会を開催した。
井川と川根をつなぐ 「いかわね新聞」発行	・第14号(8月1日発行) ・第15号(1月1日発行)	

【組織No.7】南アルプス自然環境保全活用連携協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
総会	令和2年5月26日(火) 書面決議による開催	令和元年度事業報告、令和2年度事業計画等
幹事会	第1回：令和2年4月23日(木) 書面決議による開催 第2回：令和2年8月27日(木) 伊那市防災コミュニティーセンター(長野県伊那市) 第3回：令和3年2月25日(木) 富士見町役場(長野県富士見町)	本会事業活動を効率的に推進するため、南アルプス地域を取り巻く課題を整理し検討を行った。
地域連絡会議	第1回：令和2年6月25日(木) エコパ伊奈ヶ湖(山梨県南アルプ)	協議会事業に関する協議、構成市町村及び関係機関の情報共有、

	<p>ス市)</p> <p>第2回：令和2年10月22日(木) 資料館やまびこ(静岡県川根本町)</p> <p>第3回：令和2年12月24日(木) 北杜市役所(山梨県北杜市)</p>	<p>課題の整理、職員研修等を行った。</p>
<p>各課題に対応したワーキンググループ(WG)の設置</p>	<p>(1) 登山道誘導標識 WG (担当：長野県伊那市)</p> <p>(2) 情報発信 WG (担当：山梨県韮崎市)</p> <p>(3) 看板表示 WG (担当：山梨県北杜市)</p> <p>(4) ユネスコエコパーク 定期報告 WG (担当：長野県飯田市)</p> <p>(5) 管理運営計画 WG (担当：山梨県南アルプス市)</p> <p>(6) ニホンジカ対策 WG (担当：環境省 関東地方環境事務所)</p> <p>(7) ライチョウ保護 WG (担当：静岡県静岡市)</p> <p>(8) 林道 WG (担当：長野県伊那市)</p>	<p>南アルプスの抱える多様な課題に対応すべく、構成市町村に参加を加えたメンバーで8つのWGを設置し、リーダー市町村を中心に各関係者が課題への対応、情報共有を行った。</p>
<p>ユネスコエコパーク推進事業【南アルプスライチョウサポーター制度の運用】</p>	<p>フォローアップ研修 令和3年2月27日(土)</p> <p>①オンライン会場 ②長野会場： allla(長野県伊那市)</p>	<p>南アルプスライチョウサポーター、長野県ライチョウサポーターズを対象にフォローアップ研修を実施した。</p>
<p>南アルプスユネスコエコパーク科学委員会</p>	<p>令和3年2月22日(月) 伊那市防災コミュニティセンター 多目的ホール (長野県伊那市)</p>	<p>リニア中央新幹線の進捗状況、定期報告の進捗状況について</p>

【組織No.8】 オクシズ在来作物連絡協議会

令和2年度の開催実績なし

【組織No.9】 静岡県山岳遭難防止対策協議会 静岡市支部

行事・会議名	開催日時・場所	内容
静岡県山岳遭難防止対策協議会静岡市支部総会	令和2年7月中旬～8月上旬 書面にて実施	・令和元年度事業報告及び収支決算について ・令和2年度事業計画及び収支予算について ・事務局からの連絡事項
登山道調査	①令和2年5月12日（火） 南アルプス（茶臼岳） ②令和2年6月9日（火） 南アルプス（茶臼岳）	実歩により茶臼岳登山道の流失吊橋3カ所を調査した。

【組織No.10】 南アルプスあぶとライン周辺地域誘客協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
総会	書面決議にて開催	令和2年度事業実績について等
担当者会議	令和3年3月18日（木） 川根本町役場総合支所	令和2年度事業及び令和3年度事業計画について
星空列車支援	令和2年12月12日（土）ほか	井川線星空列車事業への連携
アプトライン30周年記念への支援	—	新型コロナウイルスの影響により、記念グッズの作成等に限定
観光エージェントモニターツアー	川根本町・井川	新型コロナウイルスの影響により中止
観光キャラバン	刈谷ハイウェイオアシス	新型コロナウイルスの影響により中止

5 モニタリング実施状況

令和2年度のモニタリングの実施状況を集約しました。

(1) モニタリング実施項目

モニタリング項目		
区分	項目	
生活環境	大気質の状況	二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、風向・風速 ほか（環境保全課）
	水質の状況	水素イオン濃度（pH）、生物化学的酸素要求量（BOD）、カドミウム、鉛 ほか（環境保健研究所）
自然環境	動植物の状況	植物（モニタリング）、哺乳類、両生類、淡水魚類、底生動物（環境創造課）
	希少種の生息・生育状況	ライチョウの生息状況把握調査（環境創造課）
調査・教育	環境教育・学習	<ul style="list-style-type: none"> ・「南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家」利用者数（井川自然の家） ・静岡県「県民の森」利用者数（静岡県暮らし・環境部環境局/環境ふれあい課）
	伝統文化等の保存状況	・伝統文化等の保存状況〔県指定文化財、市指定文化財〕（文化財課）
社会状況	観光振興の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・井川地区内・施設入込客数（中山間地振興課ほか） ・主要施設利用者数（中山間地振興課） ・交通機関利用者数（井川支所、交通政策課ほか）
	産業振興の状況	・井川地区事業所数及び従業員数
	地域を取り巻く環境	<ul style="list-style-type: none"> ・井川地区の人口及び世帯数 ・井川地区の高齢化率 ・静岡市立井川小中学校 児童・生徒数（教育総務課）

(2) モニタリングの概要

1) 大気質調査

① 調査項目

二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、
風向・風速 ほか

② 調査地点及び時期

林道東俣線沿道（木賊橋付近）（11月）

③ 調査結果

全ての項目において環境基準を満たしていた。



2) 水質調査

① 調査項目

水素イオン濃度（pH）、生物化学的酸素要求量（BOD）、
カドミウム、鉛 ほか

② 調査地点及び時期

大井川本流千石宿舎付近（6月）、
大井川本流樺島ロッジ付近（12月）

③ 調査結果

水質基準値や市内河川の水質データとの比較により、
調査地点は良好な水質であることが確認された。



3) 動植物調査

① 調査項目

植物（モニタリング）、哺乳類、両生類、淡水魚類、底生動物

② 調査地点及び時期

大井川源流域及び中央新幹線建設事業に伴い環境
保全措置を実施した地点（5月～9月）

③ 調査結果

確認された6種の指標種・重要種は、「中央新幹線
環境影響評価手続」及び平成26年度から実施している
本調査で確認されている種であった。



ミヤマスミレ

4) ライチョウの生息状況把握調査

① 調査内容

目視調査、痕跡調査

② 調査場所及び時期

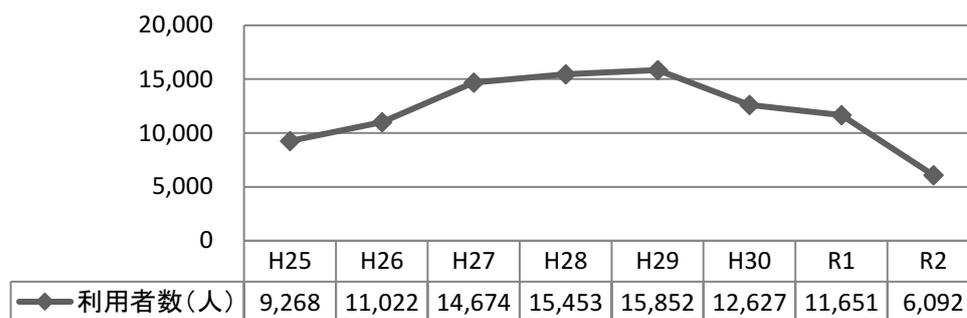
南アルプス南部 上河内岳～イザルガ岳周辺（5～10月）

③ 調査結果

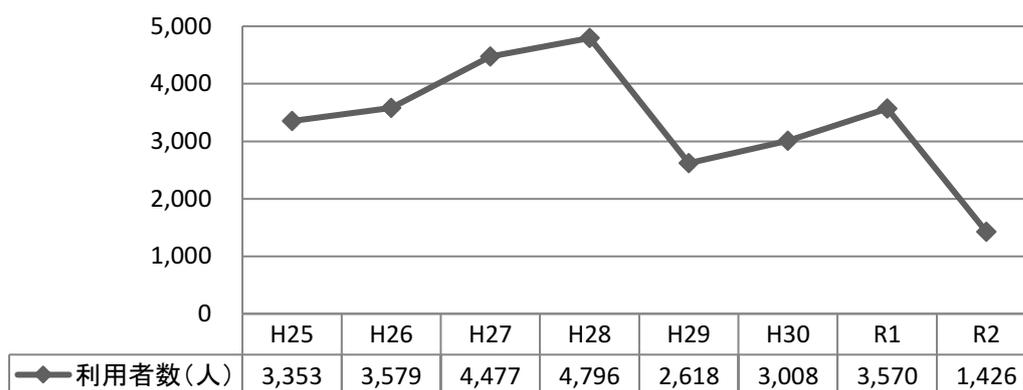
上河内岳からイザルガ岳でのライチョウのなわばり数は合計9なわばりと推定された。また、痕跡の状況からもライチョウ個体群は良好な状態に保たれているものと判断された。

5) 環境教育・学習の状況

① 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家利用者数



② 静岡県「県民の森」利用者数



6) 伝統文化等の保存状況

① 県指定文化財

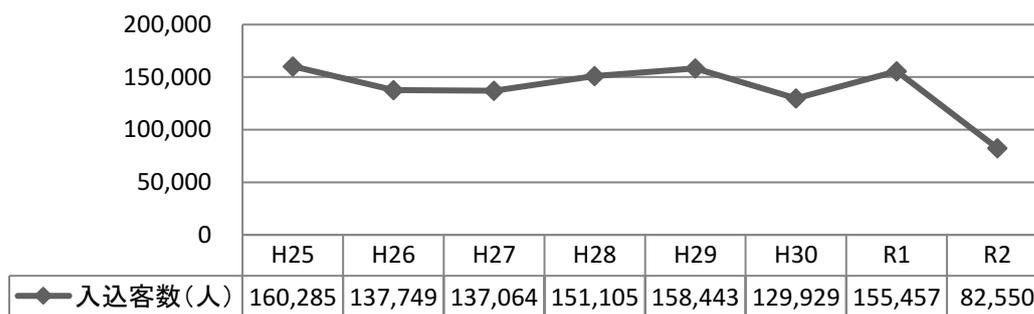
種別	区分	名称	指定日	所在地	所有者
有形文化財	彫刻	木造千手観音立像 ほか3 軀附1 軀	H17. 11. 29	葵区井川 中野観音堂	観音堂別当
民俗文化財	無形民俗文化財	ヤマメ祭	H17. 11. 29	葵区田代	諏訪神社氏子会

② 市指定文化財

種別	区分	名称	指定日	所在地	所有者
有形文化財	建造物	田代の一間造りの民家	H11. 6. 21	葵区田代	個人蔵
有形文化財	工芸品	鱒口	H20. 3. 26	葵区井川	中野観音堂

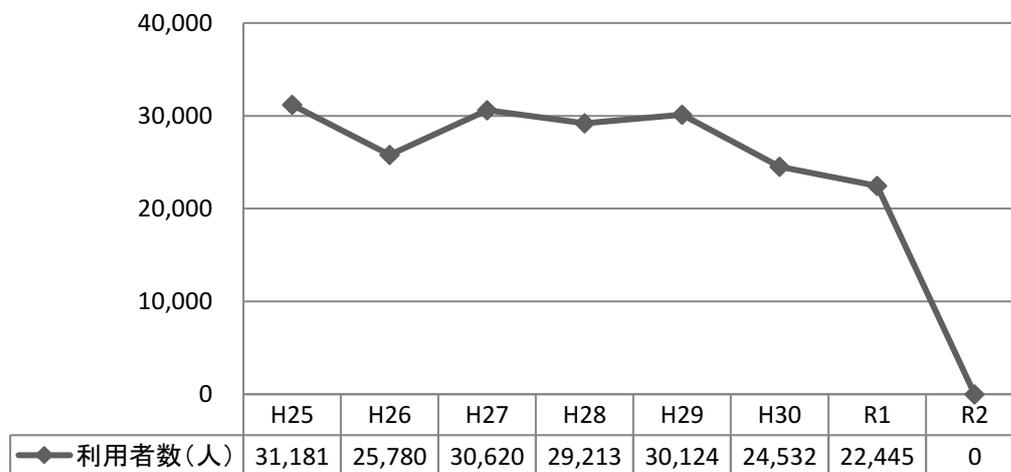
7) 観光振興等の状況

① 井川地区内・施設入込客数



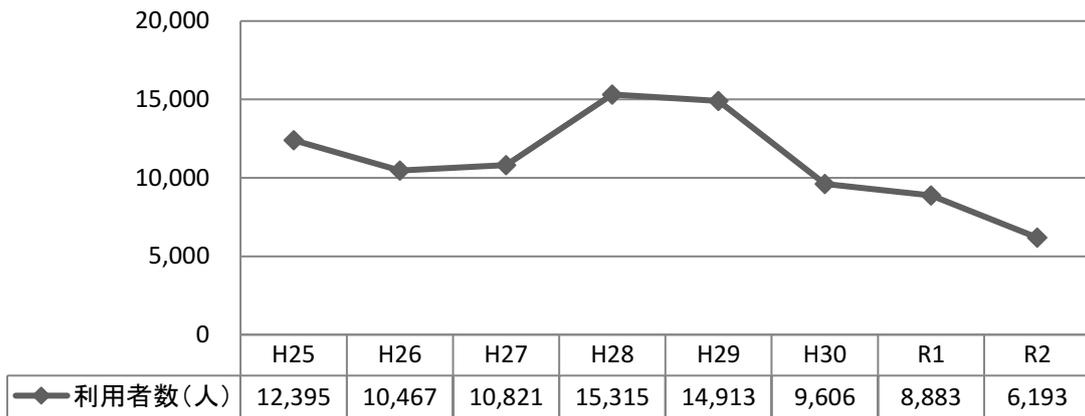
② 主要施設等利用者数

ア) ロッジ、山小屋等利用者数

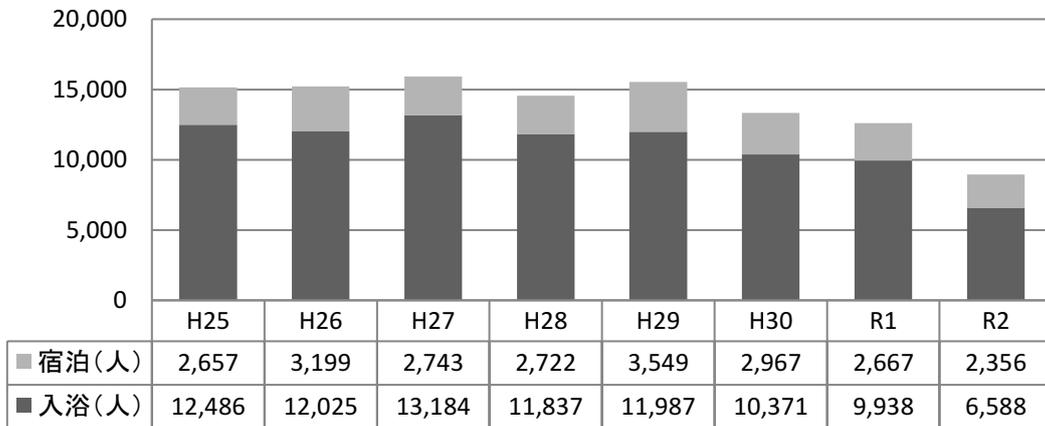


※令和2年度 新型コロナウイルス感染症の影響により休業

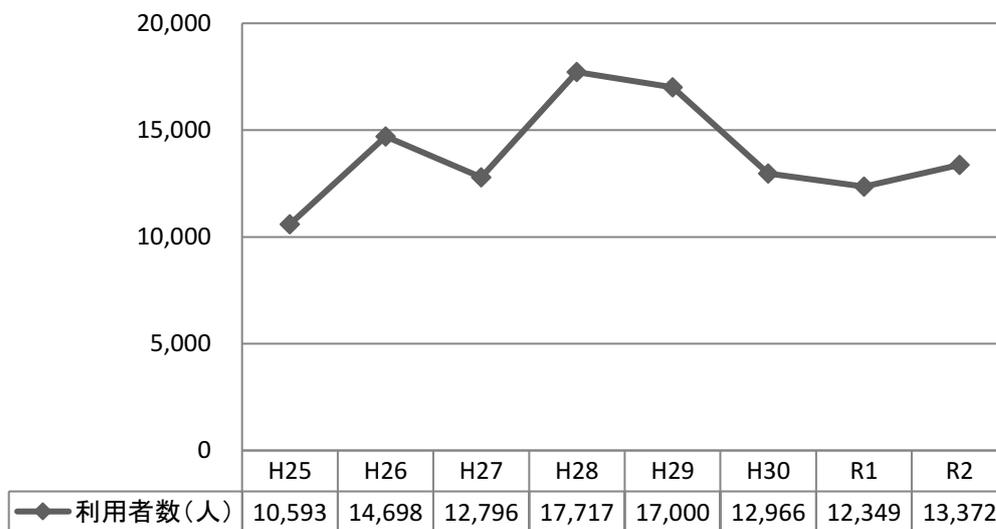
イ) 南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター利用者数



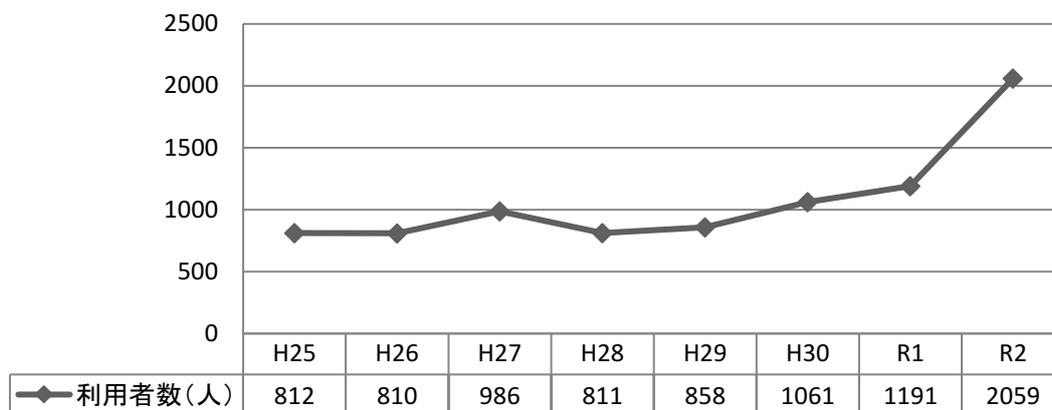
ウ) 南アルプス赤石温泉「白樺荘」利用者数



エ) リバウエル井川スキー場利用者数

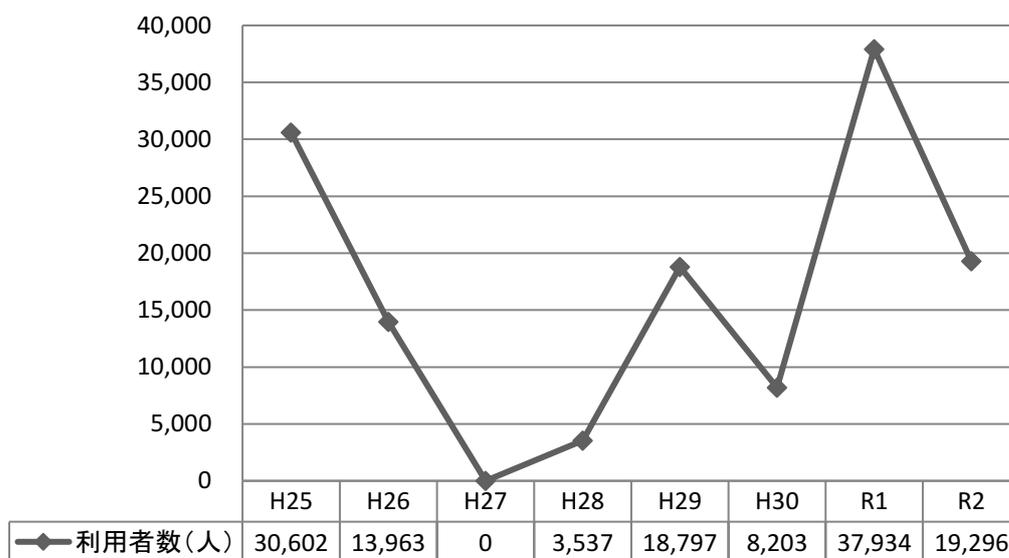


オ) 南アルプス井川オートキャンプ場利用者数



③ 交通機関利用者数

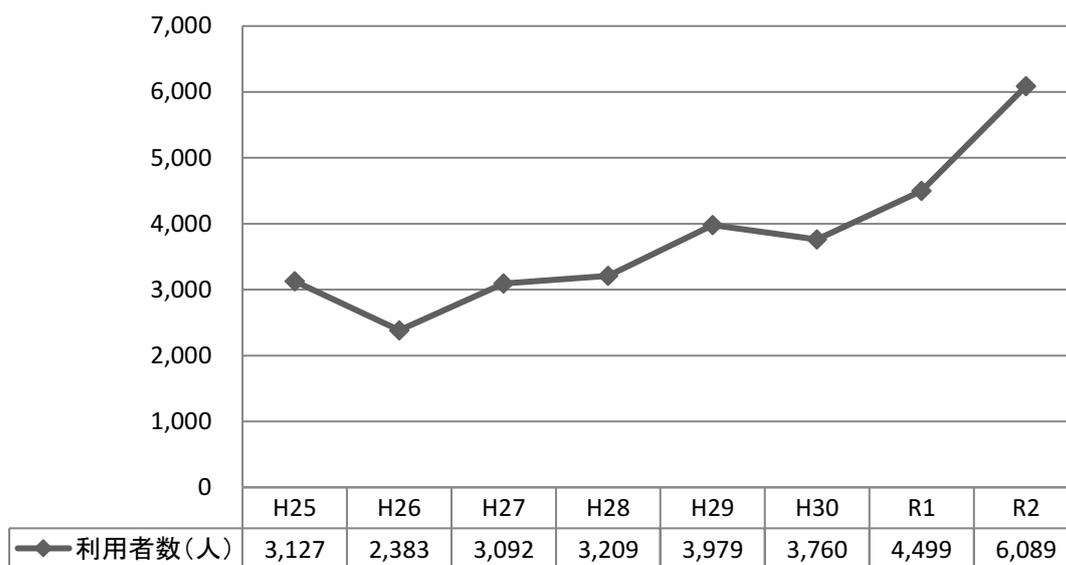
ア) 大井川鐵道井川線（井川駅）利用者数



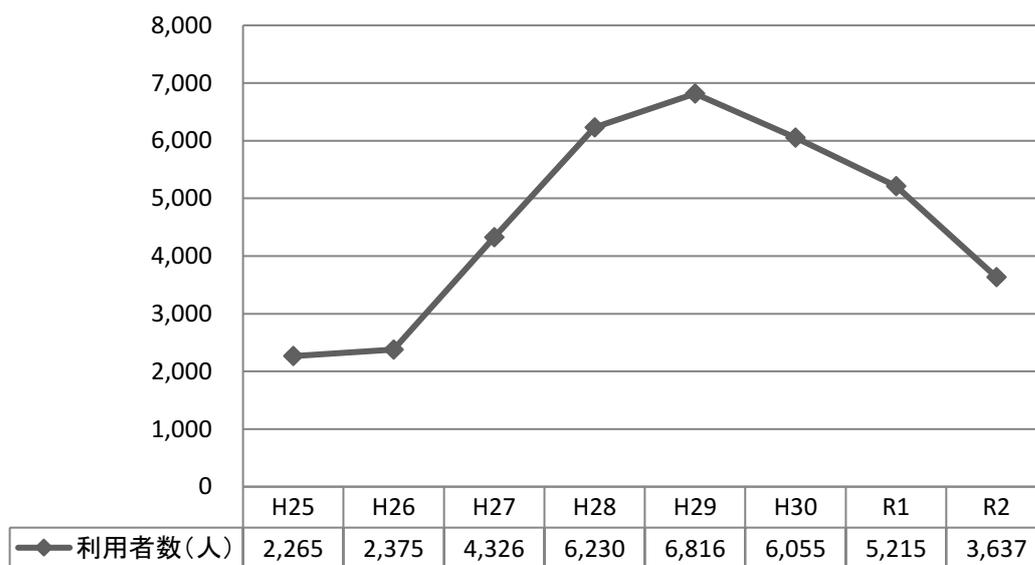
※平成26年9月2日～平成29年3月10日 井川線（接岨峡温泉駅－井川駅間）崩土により運休

※平成30年5月8日～平成31年3月9日 井川線（閑蔵駅－井川駅間）崩土により運休

イ) 井川湖渡船利用者

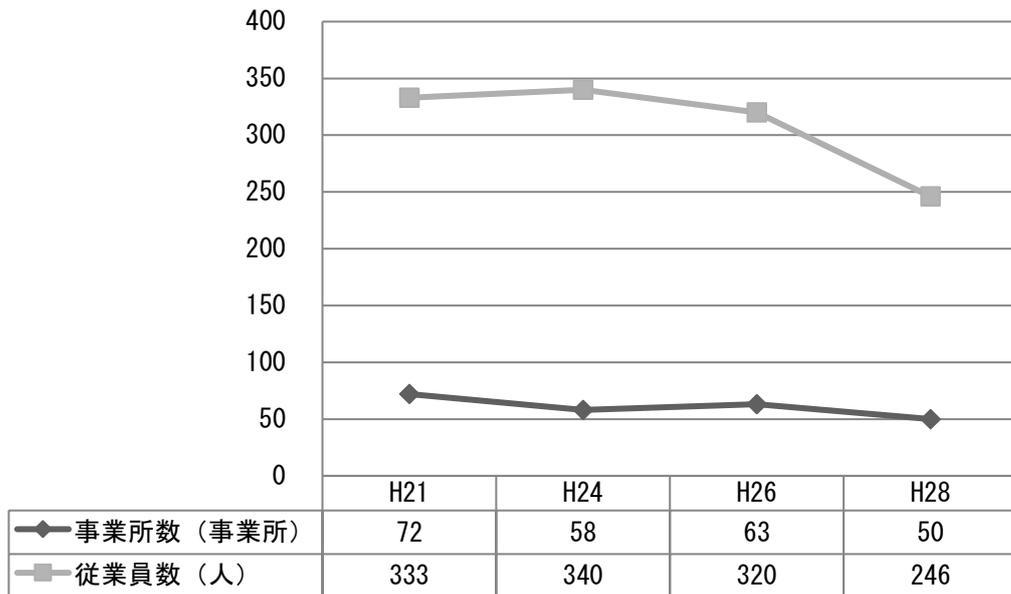


ウ) 井川地区自主運行バス利用者数



8) 産業振興の状況

① 井川地区事業所数及び従業員数

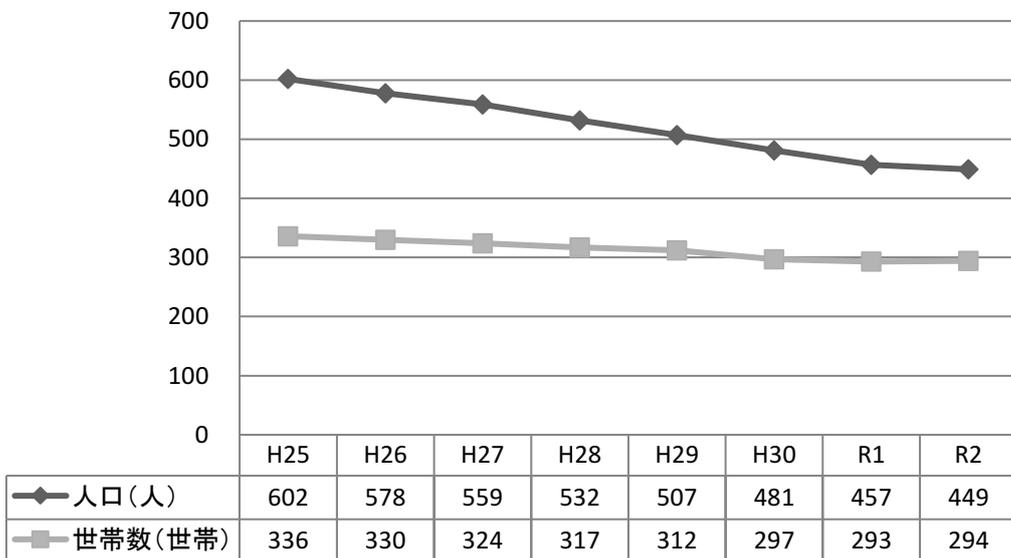


※H21、H26：経済センサス基礎調査（各年7月1日現在）

H24、H28：経済センサス活動調査（平成24年2月1日、平成28年6月1日現在）

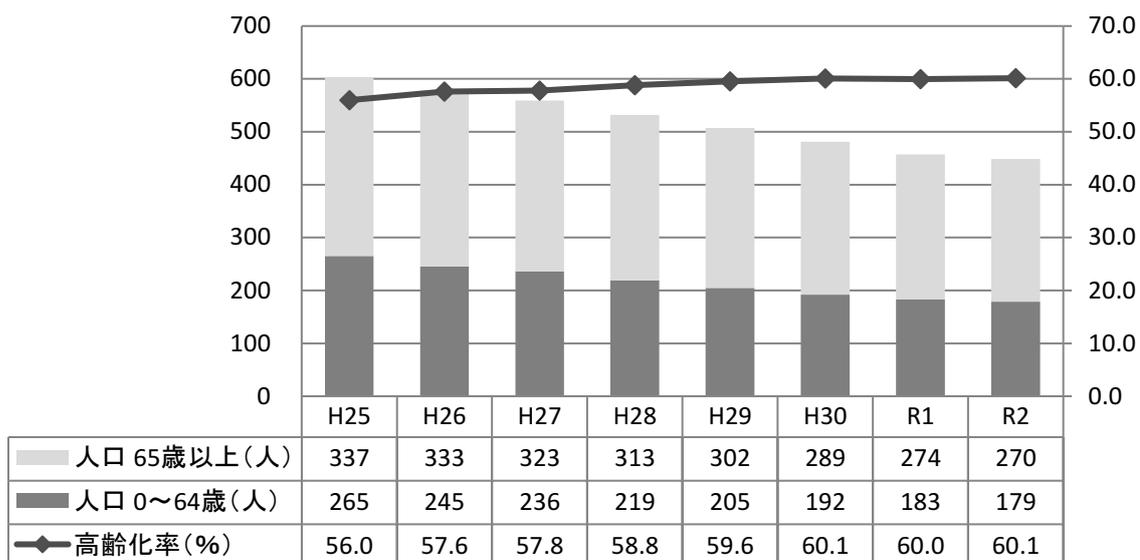
9) 地域を取り巻く環境

① 井川地区の人口及び世帯数



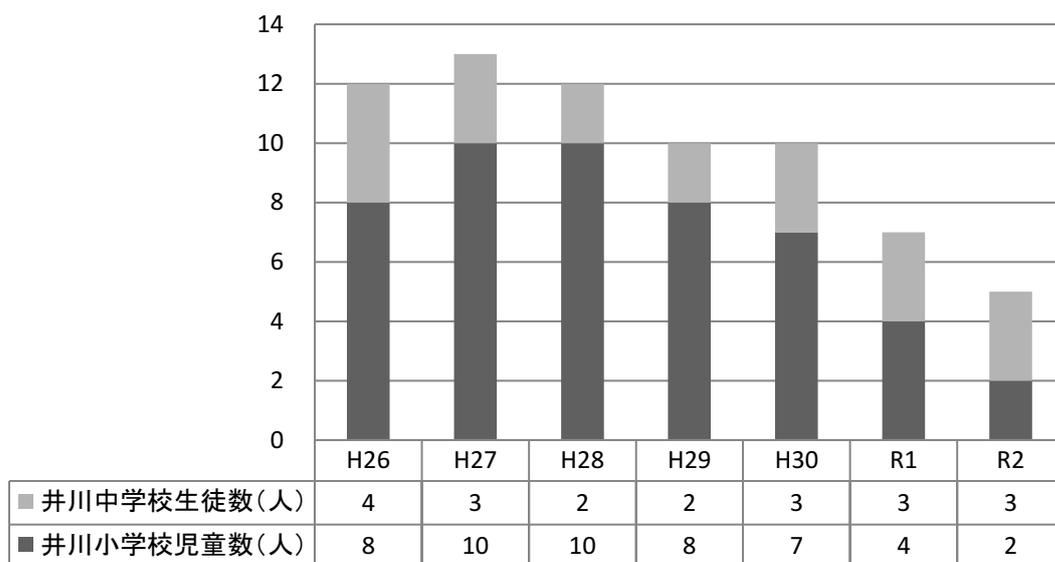
※各年9月30日現在

② 井川地区の高齢化率



※各年9月30日現在

③ 静岡市立井川小中学校 児童・生徒数



※各年5月1日現在

6 中期実行計画 総合分析

静岡市南アルプスユネスコエコパーク事業の推進にあたっては、静岡市環境政策連携統括会議において、関係局等の連携の確保及び総合的な調整を行います。

同会議の関係局が所管している事業について、各局が令和2年度の取組を分析し、それを総合的に分析した結果（課題の抽出とその改善策・今後の方向性）を以下のとおり示します。

令和2年度の取組	P 3～30「令和2年度の取組内容」のとおりに
----------	-------------------------

評価指標の状況	<p>7項目のうち、5項目が令和4年度において目標達成見込みとなり、2項目が令和4年度の目標達成に向けて要調整という状況である（詳細は、P 2「評価指標の状況」のとおりに）。</p> <p>なお、評価指標の基準年度は、7項目のうち3項目が平成30年度、1項目が平成29年度、1項目が平成25年度となっている。</p> <p>また、市政アンケートモニター調査により4年に1度把握する指標が2項目となっているため、それらの項目に記載している進捗状況は参考数値となる。</p>
---------	---

基本方針の柱	計画の実行に係る課題	改善策・今後の方向性
1 自然環境の保全	<p>① 中央新幹線建設事業の実施に伴い、工事の進捗状況や過去の調査結果をふまえた調査規模、調査地区等の適正な選定が必要とされる。</p> <p>② 南アルプスの自然の象徴である高山植物と、希少なライチョウの保護を拡大するために、市民への周知・啓発及び市民が参加できる施策の展開が必要である。</p>	<p>① 工事の進捗状況を踏まえつつ、引き続き動植物調査を実施する。これらの環境調査の結果をもとに、事業者へ情報提供を行い、必要に応じて指導・要望等を行う。</p> <p>② 市内高校生を対象とした「高山植物保護セミナー」を継続的に実施し、将来の活動の担い手育成を図るとともに、ライチョウサポーターに対する情報提供の呼びかけや他地域のライチョウサポーター活動との連携した事業を実施する。</p>
2 調査と教育	<p>① 制作したエコパーク学習用ビデオの貸出や出前授業の利用の促進、次世代エネルギーパークの教育拠点としての活用が必要である。</p> <p>② 井川ビジターセンターにおいて、自然との共生の学習や、観</p>	<p>① 制作したビデオや配布教材を活用した出前授業を教育機関等にもPRするとともに、次世代エネルギーパークの紹介動画の公開やパンフレットの活用により市内外へ広くPRする。</p> <p>② エコパークの拠点施設として、来訪者の様々なニーズに対応した情報発信によ</p>

	<p>光・登山情報の収集など、来訪者のニーズに対応できる魅力ある施設としての運営が必要である。</p> <p>③ 自然体験活動指導者登録者数を維持するとともに、指導者の自然や歴史、伝統文化等に対する興味関心を引く教育プログラムの整備が必要である。</p>	<p>り、南アルプスの魅力を伝え来訪者の増加を図る。</p> <p>③ 自然体験活動指導者の育成と主催事業への協力を継続するとともに、指導者の資質向上のため、関係機関と連携し、自然や歴史、伝統文化等を体験する活動プログラムを取り入れる。</p>
<p>3 地域の持続的な発展</p>	<p>① 移住・定住の促進に向けて、関係機関と連携した取組や情報共有、ターゲットごとの情報発信が必要である。また、空き家数や、移住促進に取組む地域団体・人材が不足している。</p> <p>② 市場の動向や旅行会社・旅行者のニーズを的確に把握し、観光商品の更なる充実やモニターツアーの実施等効果的なプロモーションを実施する必要がある。また、新渡船と新待合所（令和3年度新築予定）の活用により地域と協力して魅力を発信できる仕組み作りが必要である。</p> <p>③ 新型コロナウイルスの影響により状況に応じた無形文化財公開事業の開催を検討する必要がある。</p> <p>④ 井川自然の家のトレイルランニングコースや井川の冷涼な気候を活かした学校・企業等の合宿の誘致が必要である。また、井川自然の家新館1階に新設した特別室(個室)の利用者増加に向けたPR活動の強化が必要である。</p> <p>⑤ 地域住民及び団体が地域課題を認識し、地域課題の解決に向けた取組等を実施できる体制を整備していく必要がある。</p>	<p>① 移住支援相談員との定期的な情報共有をはじめ、関係課同士の横断的な取組や、民間事業者等との連携による相談会を実施する。また、過去の移住者や地域住民による空き家の掘り起こしなど地域主導型の移住促進を推進する。</p> <p>② モニターツアーの実施により旅行会社・旅行者のニーズや傾向を聞き取り、観光商品の開発につなげるとともに、個人客が楽しめる井川湖畔遊歩道や井川湖渡船を組み合わせた回遊コースを設定しツアーへの組込を図る。また、SNS等を活用した情報発信のほか、渡船待合所の更新を行い、魅力発信・交流の場の創出に取り組む。</p> <p>③ 関係団体と協議し開催方法を検討するほか、持続的な事業実施のために実行委員会の組織化を目指して検討を進める。</p> <p>④ トレイルランニングコースの利用促進を軸にしたPR活動を推進する。また、Facebook やホームページ等による情報発信に加えて、井川自然の家主催事業参加者に特別室(個室)の利用を促すとともに、利用者の事後アンケートを基にした環境整備を行う。</p> <p>⑤ 自治会連合会の取組への参画者を増やし、持続力ある住民主体のまちづくりを推進するとともに、他地域との連携による地域課題解決に向けた取組を支援する。</p>

	<p>⑥ 地域おこし協力隊について、任期終了後の定住や、地域住民との協働体制の構築に課題がある。</p> <p>⑦ 自主運行バスの利用者ニーズに即した時刻・ルートの見直しが必要である。</p> <p>⑧ 道路改良やトンネル補修、自然災害防除事業の実施には、測量、設計及び地権者等との交渉、用地処理などに時間を要し、交通規制に伴う道路利用者の影響も大きい。</p> <p>⑨ 近年の登山ブームと新型コロナウイルス感染拡大に伴う山間地への新規訪問客増加による登山道及び山小屋に関するあり方を見直す必要がある。</p> <p>⑩ 新型コロナウイルス感染状況を注視しながら、山岳救助訓練を計画し実施する必要がある。</p>	<p>⑥ 起業を考える地域おこし協力隊の支援や定期的なヒアリングを実施し、行政、地域住民との連携体制を強化する。</p> <p>⑦ ニーズに即した増便、運行ダイヤへの改正を行い、回遊性の向上を図るとともに、地域内イベントとの連携等により利用者の増加を図る。</p> <p>⑧ 県道三ツ峰落合線及び主要地方道南アルプス公園線のトンネル新設については、事業者と連携・協力し早期完成を目指す。また、トンネル補修や自然災害防除については、道路利用者の合意形成や道路パトロール、フォローアップ点検を実施し利用者の安心・安全を維持する。</p> <p>⑨ 登山道の安全確保と隣県自治体との登山案内看板の統一化に関する連携調整、新型コロナウイルス感染抑止のため、山小屋の衛生管理及び登山前の健康管理に関する注意喚起等を強化する。</p> <p>⑩ 井川地域の消防、救急を担う拠点施設として井川出張所庁舎の維持管理を継続するとともに、山岳救助訓練回数の増加や、登山道上へのレスキューポイントの新規整備を実施していく。</p>
<p>4 理念の継承と管理運営体制の構築</p>	<p>① 新型コロナウイルスの影響を受け、今後の海外プロモーション事業の内容や実施方法を検討する必要がある。</p> <p>② 地域住民のユネスコエコパークの理念や取り組みへの意識醸成が必要である。</p> <p>③ 井川自然の家における、南アルプスユネスコエコパークの理念をより反映させた活動プログラムの整備・充実が必要である。</p>	<p>① 海外情報を集約する機関と連携した情報収集によるアフターコロナのプロモーション方法の検討や、県内周辺市町との連携による中部国際空港等からの入国を視野に入れたプロモーションに取り組む。</p> <p>② 関係各課や地域住民、事業者等と連携し、ロゴマーク等を様々な場面で活用するなど啓発を実施する。</p> <p>③ 既存の活動プログラムを見直すとともに、関係機関と連携し、南アルプスユネスコエコパークの理念について理解を深める活動プログラムを提供する。</p>

(参考) 各事業の令和2年度事業計画及び実施結果

No.	事業名	基本方針 の柱	令和2年度事業計画	事業実施結果	所管課	頁
1	移住希望者向け情報発信事業	3	・移住支援センター運営 ・移住相談会開催 ・Webサイト等での発信	・移住支援センター運営 ・移住相談会開催 ・Webサイト等での発信	企画課	18
2	井川湖渡船運航事業	3	・渡船運航 ・渡船施設の維持管理 ・船舶の納入 ・船舶施設の更新	・渡船運航 ・渡船施設の維持管理 ・「令和聖」更新、就航 ・船舶施設の移転候補地の用地交渉	井川支所	24
3	井川湖畔遊歩道管理事業	3	・広報・PR活動 ・まち歩きガイド説明 ・維持管理	・広報・PR活動 ・船内放送、ガイド養成 ・維持管理	井川支所	26
4	葵区魅力づくり事業	3	・地域住民と打ち合わせ ・事業の協働実施	・地域住民と打ち合わせ ・事業の協働実施	葵区役所 地域総務課	16
5	静岡型体験観光推進事業	2, 3, 4	・教育旅行誘致活動 ・体験プログラムの開発	・教育旅行誘致活動 ・体験プログラムの開発	観光・MICE 推進課	13
6	海外プロモーション事業	4	・現地プロモーション ・情報発信	・情報発信	観光・MICE 推進課	30
7	無形民俗文化財の公開事業	3	・大神楽祭2020の実施 ・アンケート調査	新型コロナウイルスの影響により未実施	文化財課	22
8	中山間地域への再生可能エネルギー導入促進事業	3	・まちづくりモデルの推進	・まちづくりモデルの推進	環境創造課	20
9	南アルプス環境調査事業	1, 2	・モニタリング調査 ・発生土置き場予定地植生調査	・モニタリング調査実施・公表 ・発生土置き場予定地現地調査実施	環境創造課	6
10	静岡市森林環境アドプト事業	3	・井川地域における森林整備の実施	・井川地域における森林整備の実施 ・間伐材の活用 ・参加企業への認定証授与 ・新規寄付企業の開拓 ・普及啓発	環境創造課	20
11	静岡市次世代エネルギーパーク推進事業	2	・普及啓発、活用推進 ・次世代エネルギーパークバスツアーの実施	・普及啓発、活用推進 ・次世代エネルギーパーク普及啓発動画の作成	環境創造課	14
12	高山植物保護事業	1, 2	・防鹿柵設置、維持管理 ・担い手育成	・中岳避難小屋、千枚小屋、熊ノ平小屋周辺防鹿柵設置、維持管理 ・高山植物保護セミナー(オンライン)の実施	環境創造課	4
13	ライチョウ保護事業	1, 2	・生息状況把握調査 ・普及啓発事業の実施 ・ライチョウサポーター制度の運営	・生息状況把握調査 ・普及啓発事業の実施 ・ライチョウサポーター制度の運営	環境創造課	5
14	普及啓発事業	3, 4	・構成市町村連携による情報発信 ・市内、県内における情報発信 ・海外への情報発信 ・首都圏での情報発信	・構成市町村連携による情報発信 ・市内、県内における情報発信	環境創造課	19

15	南アルプス情報発信事業	3, 4	<ul style="list-style-type: none"> ・HPによる情報発信 ・井川地域の魅力発見 ・南アルプス南部登山関係情報の発信 ・HPによるイメージソングの配信 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPによる情報発信 ・井川地域の魅力発見 ・南アルプス南部登山関係情報の発信 ・VRコンテンツ制作 ・情報発信パネル作成 ・HPによるイメージソングの配信 	環境創造課	17
16	南アルプス教育推進支援事業	2, 4	<ul style="list-style-type: none"> ・教育教材の活用 ・南アルプスユネスコエコパーク出前授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育教材の活用 ・南アルプスユネスコエコパーク出前授業の実施 	環境創造課	8
17	南アルプスユネスコエコパーク登録周年記念事業	3, 4	<ul style="list-style-type: none"> ・6周年記念事業 ・10周年記念事業の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・6周年記念事業の実施 ・10周年記念事業の検討 	環境創造課	20
18	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業	1, 2	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者、専門家等との検討、計画、実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者、専門家等との検討、計画、実施 	環境創造課	5
19	静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業	1	<ul style="list-style-type: none"> ・市HP及び標識による啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・市HP及び標識による啓発 	治山林道課	3
20	南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理事業	1, 3	<ul style="list-style-type: none"> ・林道管理 ・林道の通行者管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・林道管理 ・林道の通行者管理 	治山林道課	7
21	南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター活用事業	2, 3	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 	中山間地振興課	14
22	南アルプス周辺登山道整備事業	3	<ul style="list-style-type: none"> ・吊橋地質調査・測量等 ・登山道調査 ・登山道修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ・吊橋修繕（災害復旧） ・登山道修繕 	中山間地振興課	18
23	中山間地移住促進事業	3	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家情報の発信 ・移住者支援 ・受入地域支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家情報の発信 ・移住者支援 ・受入地域支援 	中山間地振興課	23
24	野生鳥獣被害対策事業	3	<ul style="list-style-type: none"> ・助成 ・有害鳥獣捕獲等 	<ul style="list-style-type: none"> ・助成 ・捕獲 	中山間地振興課	21
25	地域おこし協力隊配置事業	3	<ul style="list-style-type: none"> ・協力隊による地域おこし ・補助金交付 ・新規隊員募集 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力隊による地域おこし ・補助金の交付 ・新規隊員配置決定 	中山間地振興課	16
26	オクシズ元気ビジネス支援事業	3	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家の派遣 ・補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家の派遣 ・補助金の交付 	中山間地振興課	16
27	林業担い手育成対策事業	3	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金等の交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付 	中山間地振興課	22
28	井川地区自主運行バス運行事業	3	<ul style="list-style-type: none"> ・自主運行バスの運行（365日稼働） 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主運行バスの運行（365日稼働） 	交通政策課	26
29	静岡市道路休憩施設利用促進事業	3	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動 ・トイレ施設の改築 	道路計画課	25

30	道路改良事業	3	・整備箇所の選定 ・測量、設計 ・工事	・整備箇所の選定 ・測量、設計 ・工事	道路計画課	26
31	道路トンネル補修事業	3	・点検、調査・設計、補修 工事	・点検実施	道路保全課	27
32	道路自然災害防除事業 (法面)	3	・点検、測量・設計、用地 買収・補償、対策工事	・災害防除工事	道路保全課	27
33	橋りょうの耐震化及び健全 化事業	3	・点検、調査・設計、補修 工事	事業実績なし	道路保全課	27
34	千代田消防署井川出張所 維持管理事業	3	・消防体制の維持	・庁舎の維持管理を実施	財産管理課	27
35	山岳救助体制整備事業	3	・山岳救助体制の充実 ・山岳救助支援員の指名	・山岳救助体制の充実 ・山岳救助支援員の指名	警防課	27
36	ヘリコプター南アルプス 活動拠点指定事業	3	・レスキューポイント地上 調査 ・新規レスキューポイント の伐採	・赤石登山道におけるレス キューポイント（大倉尾 根2/5）の調査 ・レスキューポイント（大 倉尾根3/5）の樹木伐採及 び調査 ・新榎島ロッジ着陸場の樹 木伐採後調査	航空課	28
37	自然体験活動指導者育成 講座事業	2, 4	・自然体験活動指導者育成	・自然体験活動指導者育成 講座実施	教育総務課	8
38	南アルプスユネスコエコ パーク井川自然の家主催 事業	2, 3, 4	・主催事業の実施	・主催事業の実施	教育総務課	9
39	学校教育との連携による 野外活動、宿泊指導等の 自然体験活動の提供事業	2, 4	・自然体験活動の提供	・自然体験活動の提供	教育総務課	12
40	南アルプスユネスコエコ パーク井川自然の家PR 活動事業	2, 3	・PR活動の実施	・チラシ・ポスター等の配 付・掲示 ・主催事業リピーターに向 けたメール配信 ・ホームページによる情報 発信 ・Facebookによる情報発信 ・校務支援システムの活用	教育総務課	13
41	南アルプスユネスコエコ パーク井川自然の家整備 事業	2, 3	事業完了	事業完了	教育総務課	-
42	社会科副読本との連携事 業	2, 4	・副読本の改訂、配布	・副読本の改訂、配布	学校教育課	12

南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画（静岡市域版）
中期実行計画 年次報告書（令和2年度）

発行年月 令和3年12月
発行 静岡市環境局環境創造課
静岡市葵区追手町5番1号
電話 054-221-1357 FAX 054-221-1492
E-mail kankyousouzou@city.shizuoka.lg.jp
URL https://www.city.shizuoka.lg.jp/041_000006.html